

## 研究課題名「内境界膜剥離併用硝子体手術の視野感度への影響」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2015年1月1日～2019年10月31日に当院で黄斑上膜（網膜前膜）に対する硝子体手術治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

近年、黄斑上膜に対する硝子体手術において内境界膜剥離が行われていますが、術後の視野検査で感度低下が見られるという事象が指摘されています。そこで、本研究では内境界膜剥離手術前後の視野検査の推移と視機能への影響を過去の臨床データから検討します。本研究では、臨床記録より、2015年1月1日から2019年10月31日までに硝子体手術を受けた黄斑上膜患者さんの術前・術後の検査記録をもとに、視野検査における感度低下の有無を確認します。

研究期間は実施承認日～2020年09月30日までを予定しております。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床記録より、2015年1月1日から2019年10月31日までに硝子体手術を受けた黄斑上膜患者の術後1年以内の性別、年齢、視力、視野、屈折、角膜曲率半径、角膜厚、眼軸長、眼底所見、光干渉断層計、眼底写真、蛍光眼底造影、補償光学眼底撮影、細隙灯顕微鏡検査、電気生理学検査、レーザーフレアセル、罹病期間、現病歴、既往歴、家族歴、身長、体重、使用薬剤、採血検査・尿検査・心電図、手術記録のデータを取り出して表にまとめ、術前後の視機能への影響を内境界膜剥離の有無に絡めて検証します。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院眼科 兼子裕規（研究責任者）

電話 052-744-2111（代表）

ファックス 052-744-2278

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院眼科 兼子裕規